

チーム Barrel house のアピール文書@第 32 回世界コンピュータ将棋選手権

Barrel house とは岡山の駅前にあるビアバーです。元々チームメイトを求めさすらって行きついたところです。マスターに許可頂いたので名前をお借りしました。その後、メンバーが変わって当初の方向性とは全く違って来ましたが、まあ一度出した名前を変更するのもアレなのでそのままです。

プログラム名：白ビール

第 28 回の Hefeweizen が濁った白ビールでしたが、第 29 回では Kristallweizen とフィルターでろ過した透き通った白ビールでした。その後 Hefeweizen に戻すという形を取りました。しかしながら、欧州のチェスサイトでは命名由来から説明頂いているにも関わらず国内では白ビールとしか読んで頂けないので、昨年からもう白ビールでいいやってことです。

チームの特徴

フレッシュなチームを自認してますがどうやらおっさんチームのようです。本大会は体力勝負ではないので各方面に様々な知識や技術・勘などを働かせて今年も決勝に残ればいいかなあと考えています。諸事情でメンバーが多忙なため具体的な策はこれから詳細を詰めていくところです。(前回も前々回もそんなアピール文だった気もしますが)

評価関数

昨年、一昨年の計測でもトップチームと劣らないものであることを確認しました。(連盟モバイルでの採用など詳しくは blog にて) 今後の調整等は未定です。

使用マシン

今年もノートパソコンを中継にクラウドの力をお借りする予定です。今年はクラウドの方も今年は若干様子が変わっているようでベンチマーク等も未だなので具体的なことは全く決まっていません。正直あまり予算がないのですが、マシンパワーだけで負けるのもアレなので予算内で一番速いマシンを借りようと考えています。

クラスタリングについて

第 5 回電王トーナメントで御披露目をした shotgun システムの進化版である Multi Ponder のクラスタリングを用います。制作メンバーが本年も外れておりますが、既に実装は文書化され多くの類似実装が選手権でも見られますので改良して用いるのは問題ないと考えます。

追記

2021 年 9 月 15 日に日本将棋連盟からアナウンスがありました。

公式戦の中継アプリに白ビールを使用して勝率表示を行うとのことです。

今まで、ニコ生や ABEMA や NHK で評価値放送はありましたがこれらは全て報道メディア側の発信情報として行われておりました。

日本将棋連盟モバイルの場合は試験的とはいえ日本将棋連盟公式の発信です。しかもリアルタイムです。

<https://bleu48.hatenablog.com/entry/2021/10/01/165338>